

**地盤工学会関東支部 会員サービスグループ**  
**2022 年度 第 4 回幹事会 議事録 (案)**

**【開催日時, 場所, 出席予定者】**

日 時	2022 年 9 月 2 日 (金) 15:00～				会 場	Zoom			
リーダー幹事	三上 武子	○	幹 事	丸山 智之	○	学生幹事	田崎 翔	○	
リーダー幹事	山中 光一	○	幹 事	小林 優起	○	学生幹事	荒木 大空	×	
幹 事	荒井 郁岳	○	幹 事	今林 清秀	○				
幹 事	山口 恵美	○							
幹 事	島村 章吾	×							

○ : 出席, △ : 代理出席, × : 欠席, 保 : 保留

**【配付資料】**

資料 2022-4-1 : 2022 年度第 4 回幹事会 議事次第

資料 2022-4-2 : 2022 年度第 3 回幹事会 議事録

資料 2022-4-3 : 語りべ会 (11 月開催) 実施概要

資料 2022-4-4 : SSC のしおり

**【議事】****1. 前回幹事会 (2022 年度第 3 回) 議事録確認**

資料 2022-4-2 に基づき, 山中幹事より前回議事録についての確認が行われ, 承認された.

**2. 語りべ会の進捗状況について**

- ・ 11 月開催 (予定) の進捗状況

資料 2022-4-3 に基づき, 山口幹事より進捗状況の説明があった.

- ・ 2022 年 11 月 25 日 (金) 14:30~15:55 に Spatial Chat にて行われ, 契約は最大 1000 人の予定で開催費用はなしということになった.
- ・ 謝礼金の内訳として講演の時間を 1 時間 30 分に訂正することとなった.
- ・ 締めの挨拶について全体と特別企画で分かれる可能性があるためその部分について GeoKanto の構成を確認することとなった.
- ・ 8/26 に Spetial Chat のデモ操作を行った. 龍岡先生からいただいた資料について確認を後日行う.
- ・ 10 月 7 日までに A4, 1 枚の講演概要を作製し GeoKanto のホームページに掲載してもらうこととなった. また, 次回の幹事会では間に合わないためしおりの掲載に関して早めに青木さんに連絡をとることとなった.
- ・ 申し込みについては参加者と発表者に対して 1 週間前に送る要旨集に URL を載せていただく方針となった.

- ・ 11/17 の実行委員会において山口幹事が Spatial Chat について操作方法について改めて確認をすることとなった。
- ・ 講師紹介者が未定となっているため、龍岡先生に若い人を紹介してもらおう形となった。
- ・ 事後アンケートについては語りべ会に参加した方に直接メールを送る方針となった。
- ・ Spatial Chat のステージは zoom のような形となっていて、ホストが設定した人のみカメラ・マイクが使うことができない。そのために質疑応答についてはチャットの質問にも対応することとなった。加えて、事前質問については前回の語りべ会を鑑みておこなわないこととなった。
- ・ 推奨ブラウザが chrome となっているため注意が必要。
- ・ Spatial Chat がうまく使えない場合は zoom へ誘導することとなったが、誘導する方法については未定となっている。加えて Zoom からの参加者は質問等、発言ができないとのこと。
- ・ 本部での行事案内のメールにて配信をしてもらう方針となった。また関東支部以外からの申し込みなどに対しては GeoKanto に申し込んでもらうこととなった。
- ・ 申込フォームを利用する際は大まかな人数の把握程度のものでよいのではないかと山中幹事からの意見があった。

荒井幹事より龍岡先生の資料に基づいて作製した資料の確認が行われた。

- ・ プログラムの予定を再構成。申し込み方法の確認をすることとなった。
- ・ インターネット・SNS への公開禁止との注意事項の共有がなされた。

### 3. SSC の開催方法について

- ・ SSC の準備状況

資料 2022-4-4 に基づいて、今林幹事から確認が行われた。

- ・ 改良強度、改良強度のばらつき、プレゼンテーションの 3 項目について審査することとなった。
- ・ モールドの変形・破損を総得点の 10 点から原点とする。突き硬めによる強度増加を規制するためとのこと。
- ・ 混練材、100 円ショップで購入したもののみ使用可。「セメント」「モルタル」「瞬間接着剤」の使用禁止となっているが糊系は使用可となった。
- ・ 1%/min で載荷していき、破壊の定義として「明確に破壊と判断されるもの」「10mm 圧縮した場合」となった。
- ・ 混練材のレシート、混練材の投入体積の計測状況、混練材と山砂の練り混ぜ状況の 3 つの写真を入れることとなった。また、三上幹事から混練材の体積の計測方法に関してどのようにするのかとの質問があったが、体積の計測については各チームに計測方法を考えてもらうこととなった。
- ・ 三上幹事から混練材の体積 60cm<sup>3</sup> 以下とこだけ規定するのかという質問があったが、極端な話 100%混練材を防ぐための規定値を設けているとのことだった。
- ・ プレゼンテーション資料を 10 月 5 日までに提出してもらい、質問をってもらう担当チームに事前に資料を送ることとなった。

- ・ 目標強度 350 kN/m<sup>2</sup> にどれだけ近いかで採点を行う。また、評価対象は 3 供試体の中で近いものとなったが、450kN/m<sup>2</sup> を超えたら順位の変動はないが全体のポイントから 25%減することとなった。
- ・ 投票に関しては各チーム 2 票を持ち、異なる 2 チームへ投票してもらうこととなった。
- ・ プレゼンテーションの配合内容についての明記、計測状況等の規定に関して表現方法・創意工夫に関しても評価の対象にすることとなった。
- ・ Google フォームを使って投票を集計する方針となった。
- ・ 優勝者にはトロフィー・賞状、2 位 3 位には賞状を送る方針となった。
- ・ 参加のしおりに Q&A を設け、Q&A を問い合わせる先を記載する方針となり、その旨を青木さんに伝えることとなった。
- ・ 保険関係のあるため現地参加は早めに伝える方針となった。
- ・ フォーム自体を残しておいて直接問い合わせがあった際はフォームのリンクを送ることとなった。
- ・ 関東学院大学からトロフィーを返還してもらうこととなった。

#### 4. その他

##### 【次回の予定】

- ・ 日時：10 月末～11 月頭
- ・ 場所：オンライン

以上（文責：田崎）